

# 甦るドストエフスキー

## —『罪と罰』と『カラマーゾフの兄弟』の世界

21世紀グローバル化の日本になぜドストエフスキーは甦ったのか。その謎を解き明かす鍵は、ドストエフスキー自身の生涯にある。癩癩という宿病、死刑宣告、シベリア流刑の果てに、この受難の作家が、19世紀後半のロシア社会に見たものとは何だったのか。それがなぜ、私たち現代人の心をとらえるのか。2回にわたる講演では、ドストエフスキー文学におけるヒューマニズムの意味と「二枚舌」の内実を徹底して掘り起こす。対象となるのは、2つの代表作『罪と罰』と『カラマーゾフの兄弟』である。



東京外国語大学長  
亀山郁夫

(専門分野：ロシア文学・  
ロシア文化論)

### 第1回 5月16日(土) 「罪と罰の不条理

—ラスコーリニコフはどう裁かれたのか?—

### 第2回 6月13日(土) 「黙過のリアリティ

—イワン・カラマーゾフの悲劇—

#### ●会場

東京外国語大学府中キャンパス

研究講義棟1階 101教室 (マルチメディアホール)

13:30 ~ 15:00 (開場 12:30)

※受講者多数の場合は、別室でモニター受講になります。

#### ●参加方法

参加無料、申込は必要ありません。

当日、直接府中キャンパスまでお越し下さい。

#### ●問い合わせ先

東京外国語大学 総務企画課広報係

TEL 042-330-5150 FAX 042-330-5140

E-mail: [tufs-openacademy@tufs.ac.jp](mailto:tufs-openacademy@tufs.ac.jp)

<http://www.tufs.ac.jp/common/open-academy/index.html>

#### 【府中キャンパス交通案内】

◆JR中央線「武蔵境」駅のりかえ  
西武多摩川線「多磨」駅下車徒歩5分  
(JR新宿駅から約40分)

◆京王電鉄「飛田給」駅北口より  
多磨駅行き京王バスにて約10分  
「東京外国語大学前」下車

